D01022001A

取扱説明書

PD-H600

Compact Disc Player

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

RCAオーディオケーブル×1
システムコントロールケーブル×1
電源コード×1
リモコン(RC-1182)×1
乾電池(単4)×2
取扱説明書×1
保証書×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- 再生中は本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクが高速回転しているため、ディスクを傷つける恐れがあります。

- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

分解禁止

この機器のキャビネットは絶対に外さない。

キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。

ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のケーブルを使用する。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。

火災・感電やけがの原因となることがあります。

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ディスクの挿入口に手を入れない。機器の内部に異物を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。

- 「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD（12cm/8cm）

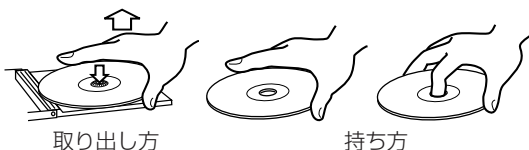
- 正しい方法でファイナライズされたCD-RおよびCD-RW

● ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

● コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

● 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

● ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

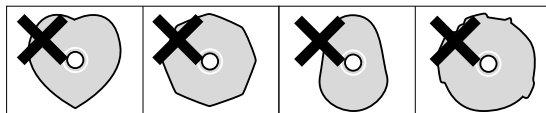
● CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすく作られています。直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

MP3/WMAについて

本機は、CD-R/CD-RWに記録されたMP3ファイルやWMA（Windows Media Audio）ファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3/WMAファイルを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

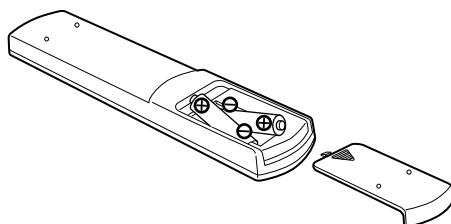
- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字（1バイト文字）しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。
- MP3/WMAファイルの認識はファイル拡張子（MP3の場合「.mp3」、WMAの場合「.wma」）で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3またはWMAデータ形式でないファイルは再生できません。
- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1または48 kHz、ビットレートが320 kbps以下のファイルとなります。
- 本機で再生できるWMAファイルは、サンプリングレートが44.1 kHz、ビットレートが192 kbps以下のファイルとなります。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。MP3またはWMAを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- ISO9660規格で記録されていないディスクは再生できません。
- フォルダとファイルの合計が255を越えているディスクは、本機で正しく再生できないことがあります。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

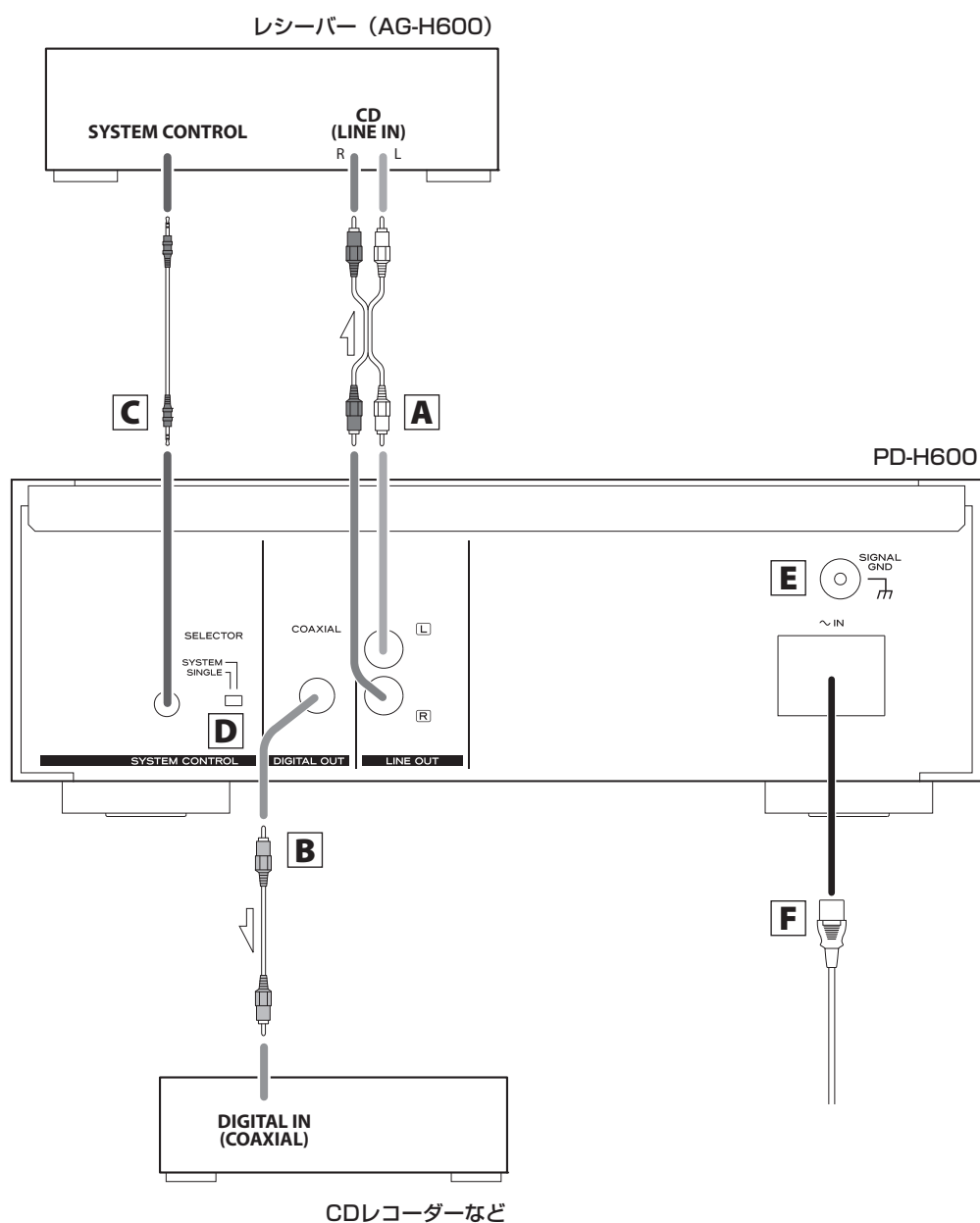
リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池（単4形） 2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでお使いください。

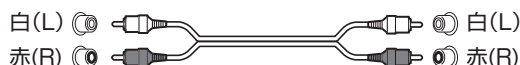
- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

接続方法

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子 [LINE OUT]

アナログの音声を出力します。オーディオケーブルを使って、レシーバーの音声入力端子と接続してください。

- オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル音声出力端子 [DIGITAL OUT]

同軸デジタルケーブルを使って、CDレコーダーなどの同軸デジタル入力端子と接続してください。

- ケーブルはしっかり差し込んでください。

C システムコントロール端子 [SYSTEM CONTROL]

ティアックのレシーバー AG-H600をお持ちであれば、システムコントロール機能を使うことができます。
システムコントロールケーブルを使って、本機とAG-H600のシステムコントロール端子を接続し、システムコントロールスイッチ(D)を「SYSTEM」に切り換えてください。

システムコントロール機能を使うと、以下のように動作します。

- AG-H600のリモコン(RC-1181)を使ってAG-H600の電源のスタンバイ/オンを切り換えると、本機の電源のスタンバイ/オンが連動して切り換わります。
- AG-H600の入力をCDから他のソースに切り換えると、本機の再生が自動的に停止し、ディスプレーが消灯します。

(AG-H600の取扱説明書もお読みください。)

D システムコントロールスイッチ [SYSTEM CONTROL SELECTOR]

システムコントロール機能を使うときは、本機とAG-H600のシステムコントロール端子(C)を接続し、システムコントロールスイッチを「SYSTEM」に切り換えてください。

- スイッチを「SYSTEM」に切り換えると、本機のリモコン(RC-1182)の電源ボタン(STANDBY/ON)が機能しなくなります。
- システムコントロール機能をお使いにならないときやAG-H600をお持ちでない場合は、スイッチを「SINGLE」に切り換えてください。「SYSTEM」のままだと電源をオンにすることができません。

E アース端子 [SIGNAL GND]

市販のビニール電線などを使ってアンプなどとアース接続すると、音質が向上する場合があります。

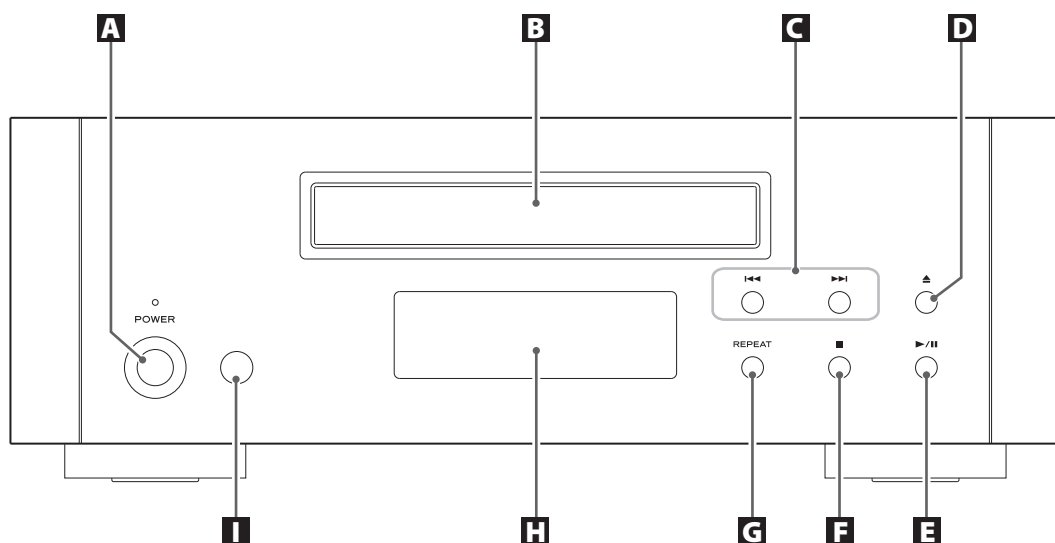
- 安全アースではありません。

F 電源インレット

付属の電源コードを使って家庭用電源コンセントに接続してください。

- 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。
また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

各部の名称

A 主電源スイッチ［POWER］

電源をオン/オフします。
スタンバイではインジケーターがオレンジに、オンではインジケーターが青に光ります。

B ディスクトレー

C スキップボタン［⏮/⏭］

前または後ろの曲にスキップします。（14ページ）

D 開閉ボタン［⏏］

ディスクトレーを開閉します。

E 再生/一時停止ボタン［▶/⏸］

再生を開始/一時停止します。

F 停止ボタン［■］

再生を停止します。

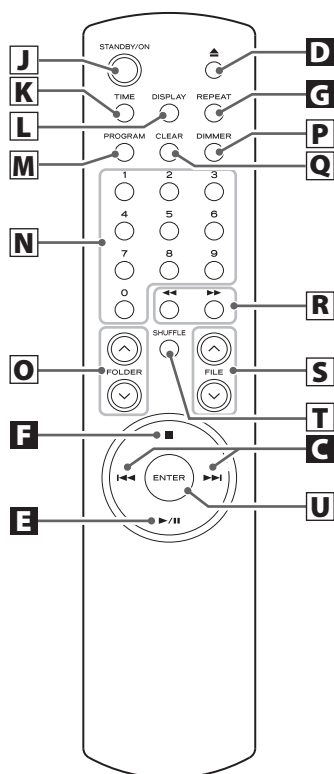
G リピートボタン［REPEAT］

リピート再生のモードを切り換えます。（16ページ）

H ディスプレー

ディスクの総曲数や再生時間、MP3/WMAの情報などが表示されます。

I リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

J 電源ボタン[STANDBY/ON]

電源のスタンバイ/オンを切り換えます。
システムコントロール機能を使っているときは、このボタンは機能しません。本機の電源のスタンバイ/オンを切り換えるには、AG-H600のリモコン(RC-1181)をお使いください。

K タイムボタン[TIME]

ディスプレーの時間表示を切り換えます。(20ページ)

L ディスプレーボタン[DISPLAY]

ディスプレーの表示を切り換えます。(20ページ)

M プログラムボタン[PROGRAM]

プログラム再生に使用します。(17ページ)

N 数字ボタン

選曲などに使用します。(15ページ)

O フォルダボタン[FOLDER ︿/﹀]

MP3/WMA再生のとき、前または後ろのフォルダにスキップします。(15ページ)

P ディマーボタン[DIMMER]

ディスプレーの明るさを調節します。(19ページ)

Q クリアボタン[CLEAR]

プログラムした曲を削除します。(18ページ)

R サーチボタン[◀◀ / ▶▶]

再生中にサーチボタンを押し続けると、早送り/早戻しができます。(14ページ)

S ファイルボタン[FILE ︿/﹀]

MP3/WMA再生のとき、前または後ろの曲にスキップします。(15ページ)

T シャッフルボタン [SHUFFLE]

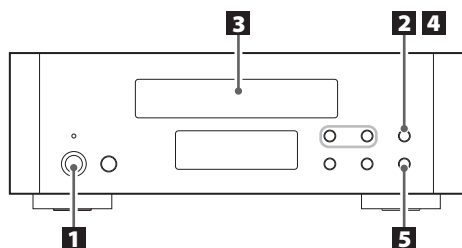
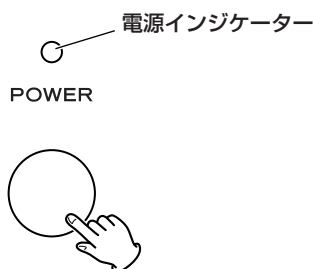
シャッフル再生に使用します。(16ページ)

U 決定ボタン [ENTER]

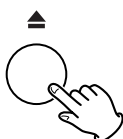
フォルダボタン(FOLDER︿/﹀)やファイルボタン(FILE︿/﹀)で選んだものを確定します。(15ページ)

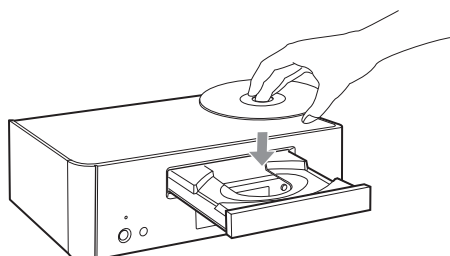
● AG-H600のリモコン(RC-1181)を使って本機を操作することもできます。以下のボタンが使えます。
  リピートボタン(REPEAT)
  停止ボタン(■)
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  スキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)
  再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)
  サーチボタン(◀◀/▶▶)

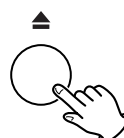
(AG-H600の取扱説明書もお読みください。)

基本操作

1 電源を入れる。

電源インジケーターがオレンジから青に変わります。

システムコントロール機能を使う場合は、主電源スイッチ(POWER)はオンにしておいて、AG-H600のリモコン(RC-1181)で電源のスタンバイ/オンを切り換えてください。

2 開閉ボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

- トレーは1分後に自動的に閉まります。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

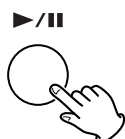
4 開閉ボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが閉まります。

- 指を挟まないようにご注意ください。

オーディオCD

MP3/WMAディスク

- ディスクをのせたあと、開閉ボタン(⏏)を押さずに再生/一時停止ボタン(►/❚❚)または数字ボタンを押すと、自動的にトレーが閉じて再生を始めます。

5 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

1曲目から再生が始まります。

オーディオCD

MP3/WMAディスク

- MP3/WMAディスクでは、再生時間が100分を超える曲の再生中は、経過時間が時/分で表示され、「：」が点滅します。
  再生時間が4時間(240分)を超える曲の再生中は、経過時間が表示されません。「OVER」と表示されます。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間(オーディオCDのみ)が表示されるまでお待ちください。

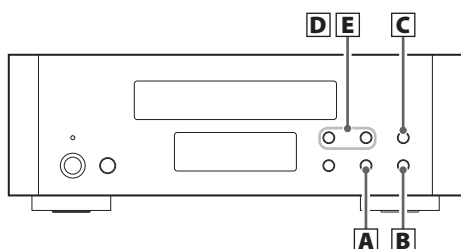
- 最後の曲の再生が終わると停止します。

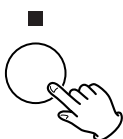
- ディスクトレーにディスクが入っていない場合は「No Disc」と表示されます。

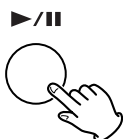
- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。ROOTフォルダの1曲目から再生が始まります。

- MP3/WMAのファイルの入っていないフォルダはスキップして再生します。

基本操作

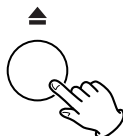
基本の再生操作

A 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押します。

B 再生を一時停止するには

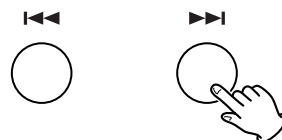
再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押します。

「❚❚」が表示されます。

- 再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)をもう一度押すと、再び再生が始まります。

C ディスクトレーを開閉するには

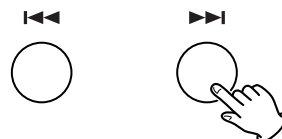
開閉ボタン(⏏)を押します。

- ディスクの再生中に開閉ボタン(⏏)を押すと、再生が停止してディスクトレーが開きます。
- ディスクを取り出したら、もう一度開閉ボタン(⏏)を押してトレーを閉じてください。

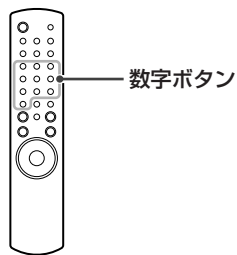
D 聴きたい曲を探すには(スキップ)

再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を押します。

前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

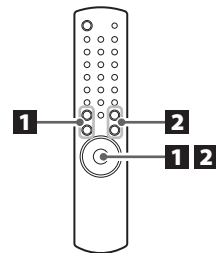
- 停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で(一時)停止状態になります。再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと再生が始まります。
- 再生中にスキップボタン(⏮)を一回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときはスキップボタン(⏮)を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

E 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を押し続け、聴きたい部分が見つかったら指をはなします。

- リモコンではサーチボタン(◀◀/▶▶)を使用してください。
- 最後の曲の終わりまで早送りすると、停止します。

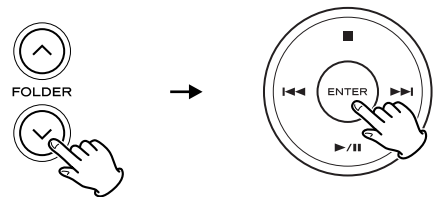
好きな曲から再生する

再生中または停止中に数字ボタンで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

例:

フォルダ/ファイルを選ぶ

再生中や停止中にMP3/WMAのフォルダを探したり、聴きたい曲を探すことができます。

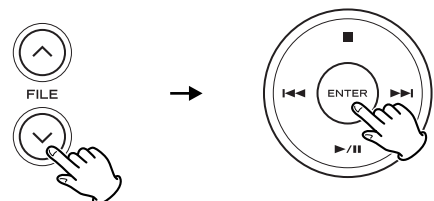
● フォルダが存在しない、または一つしかない場合は、フォルダを選ぶ必要はありません。2から操作してください。

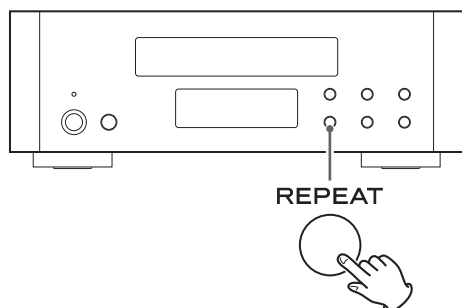
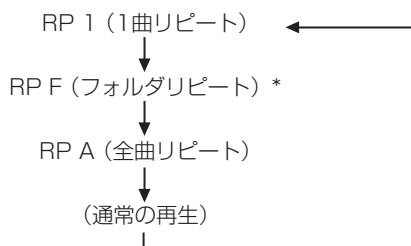
1 フォルダを選ぶ。

フォルダボタン(FOLDER ∧/∨)を押して希望のフォルダを選び、決定ボタン(ENTER)を押します。

● フォルダの階層によっては、フォルダや曲の順番が前後することがあります。

選んだフォルダの最初の曲から再生が始まります。

2 曲を選ぶ。

ファイルボタン(FILE ∧/∨)を押して希望の曲を選び、決定ボタン(ENTER)を押します。

選んだ曲から再生が始まります。

リピート再生

リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

* MP3/WMAディスクのみ

● 停止ボタン(■)を押すと、リピートモードは解除されます。

1曲リピート（RP 1）

再生中の曲が繰り返し再生されます。他の曲を選ぶと、その曲が繰り返し再生されます。

● 停止中に1曲リピートを選んでから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

フォルダリピート（RP F）（MP3/WMAディスクのみ）

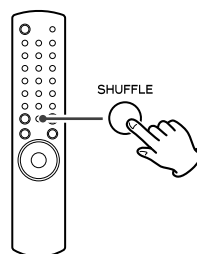
再生中のフォルダの全曲が繰り返し再生されます。フォルダボタン(FOLDER︿/﹀)で他のフォルダを選ぶと、選んだフォルダの全曲が繰り返し再生されます。

● 停止中にフォルダリピートを選んでからフォルダを選んで再生すると、そのフォルダの全曲が繰り返し再生されます。

全曲リピート（RP A）

ディスクの全曲を繰り返し再生します。

● プログラム再生中は、プログラムされた曲が繰り返し再生されます。

シャッフル再生

シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、ディスクの曲がランダムに再生されます。

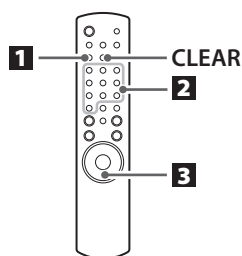
```
CD/▶ SFL
T05  00:13
```

● シャッフル再生中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、シャッフル再生を解除できます。

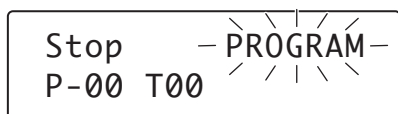
● シャッフル再生を停止すると、シャッフル再生モードが解除されます。停止ボタン(■)を押すまでシャッフル再生は続きます。

● シャッフル再生中にスキップボタン(▶▶I)ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。スキップボタン(I◀◀)を押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻れません。

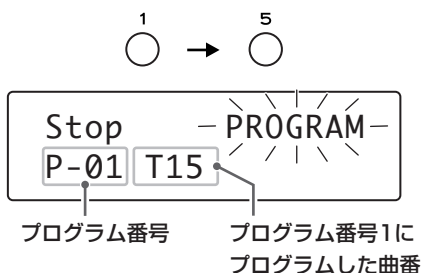
● シャッフル再生モードのときは、数字ボタン、フォルダボタン(FOLDER︿/﹀)、ファイルボタン(FILE︿/﹀)を押しても機能しません。

プログラム再生(オーディオCDのみ)

ディスクの中から、30曲までプログラムして再生することができます。

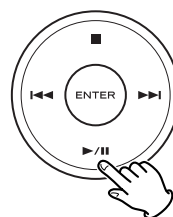
- プログラムする前にディスクを入れておいてください。

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

- 再生中はプログラムできません。

2 数字ボタンで曲を選択する。

例：曲番15をプログラムする場合

希望の曲を全てプログラムするまで、**2**を繰り返します。

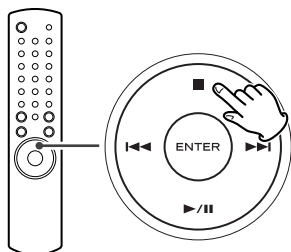
- 30曲を超えると「P-full」と表示されます。
- 間違えてプログラムした場合、クリアボタン(CLEAR)を押すと最後にプログラムした曲が削除されます。
- ディスクに存在しない曲番はプログラムできません。
- 停止ボタン(■)を押すと、プログラムは消去されます。

3 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

プログラム再生が始まります。

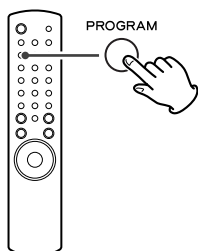
- プログラム再生中または停止中は、ディスプレーに「PRG」と表示されます。
- 全ての曲目の再生が終わると、自動的に停止します。
- シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、プログラム再生が一時的に解除されて、シャッフル再生になります。シャッフル再生を停止して再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、再びプログラム再生が始まります。
- プログラム再生を停止すると、プログラムの総曲数と総再生時間が表示されます。

プログラム再生(オーディオCDのみ)

プログラム再生を停止するには

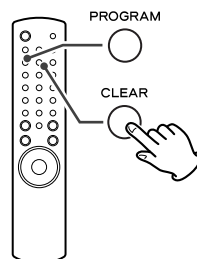
停止ボタン(■)を押します。

● プログラムした内容はメモリーされています。再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容をチェックするには

停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

押すたびにプログラム番号とプログラムした曲番が表示されます。プログラムの最後に「P-end」と表示されます。

● 元の表示に戻るには、プログラム再生を開始して、停止します。

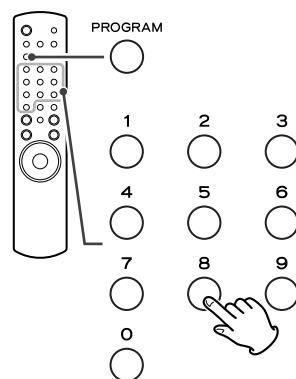
プログラムの一部を削除するには

停止中に、削除したい曲番が表示されるまでプログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押してから、クリアーボタン(CLEAR)を押します。

プログラムからその曲が削除され、次にプログラムされていた曲が繰り上がって表示されます。

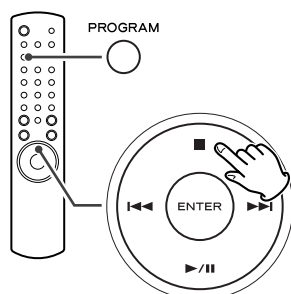
● 複数の曲を削除するときは、同じ操作を繰り返してください。

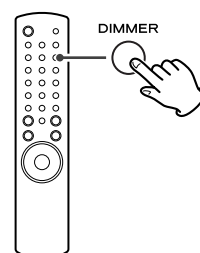
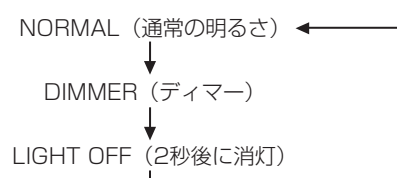
● クリアーボタン(CLEAR)を3秒以上押し続けると、プログラムされていた全曲が削除されます。

曲を追加するには

停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押して、追加したい位置の直後の曲のプログラム番号を表示させてから、数字ボタンで曲番を選びます。

● プログラムの最後に曲を追加したい場合は、プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押して、「P-end」を表示させてから、数字ボタンで曲番を選びます。

プログラムの内容を全て消去するには

停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押してから、停止ボタン(■)を押します。

- 以下のいずれかのボタンを押したときも、プログラムの内容は全て消去されます。
  開閉ボタン(▲)
  リモコンの電源ボタン(STANDBY/ON)
  本体の主電源スイッチ(POWER)

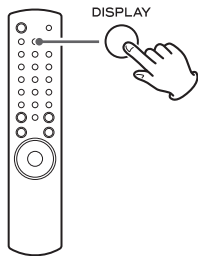
ディスプレーを暗くする(ディマー)

ディマーボタン(DIMMER)を押すたびに、ディスプレーの明るさが以下のように変わります。

- 本機の電源をスタンバイ状態にすると、次に電源をオンにしたときは通常の明るさになります。

- 消灯中に操作をすると、約4秒間だけディスプレーが通常の明るさになります。

- システムコントロール機能を使っているときは、AG-H600でトーンダイレクトをオンにすると、本機の設定に関わらず、ディスプレーが消灯します。

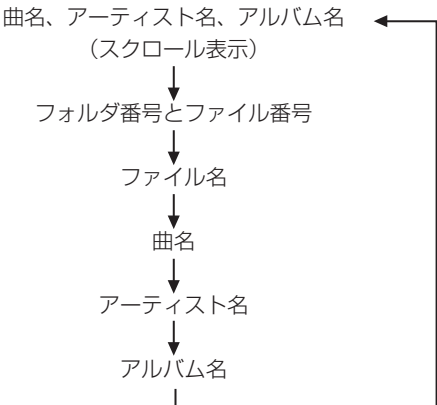
ディスプレーの表示

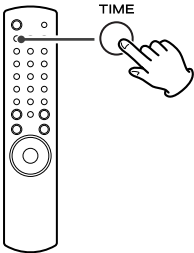
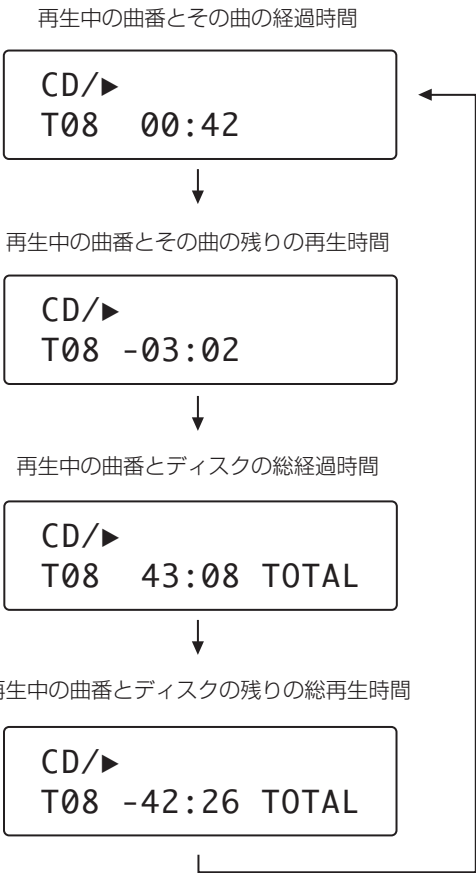
表示する情報を変える

ディスプレーに表示される情報を変えることができます。

ディスプレーボタン(DISPLAY)を押すたびに、以下のように情報が変わります。

オーディオCD

- ミュージックカレンダーは、ディスクに収録されている曲数を最大15曲まで表示します。15曲以上収録されているときは、最後に「▶」が点灯します。
- 再生中の曲番が点滅します。再生が終わると曲番が消えます。

MP3/WMAディスク(再生中)

時間情報を変える(オーディオCDのみ)

オーディオCDの再生中に、ディスプレーに表示される時間情報を変えることができます。

タイムボタン(TIME)を押すたびに、以下のように時間情報が変わります。

- ミュージックカレンダーを表示させているときは、時間情報が上段に表示されます。
- タイムボタン(TIME)はMP3/WMAディスクでは機能しません。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？
➡ システムコントロール機能を使っているときは、AG-H600のリモコン(RC-1181)を使って本機の電源をオン/スタンバイしてください。
➡ システムコントロール機能を使わないときは、本機のシステムコントロールスイッチ(SYSTEM CONTROL SELECTOR)を「SINGLE」に切り換えてください。

音が出ない。

➡ レシーバー、スピーカーとの接続を確認してください。
➡ レシーバーの操作を確認してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ システムコントロール機能を使っているときは、リモコンの電源ボタン(STANDBY/ON)が働かなくなります。AG-H600のリモコン(RC-1181)を使って本機の電源をオン/スタンバイしてください。

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は、本機のリモコンを操作する間は他の機器の電源を切ってください。

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスク、ファイナライズされていないディスクは再生できません。CD-R/CD-RWを再生するときは、録音/ファイナライズされているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

プログラム再生できない。

➡ 電源を切ったり、ディスクトレーを開閉すると、プログラムは消去されます。誤ってプログラムを消去してしまった場合は、もう一度プログラムし直してください。

ディスプレーの表示が消える

➡ ディマーの設定を「NORMAL」または「DIMMER」にしてください。
➡ AG-H600の入力をCDに切り換えてください。
➡ AG-H600でトーンダイレクトを使っているときは、ディスプレーの表示が自動的に消灯します。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

仕　様

周波数特性 . . . . 20Hz～20kHz ±1.0dB
SN比(20kHz LPF)
110dB以上(1kHz, 0dB, A weight)
全高調波歪率(20kHz LPF) . . . . 0.003%（1kHz, 0dB)
アナログ出力 . . . . RCA 2.0V（1kHz, 0dB)
デジタル出力 . . . . RCA（COAXIAL, 0.5V, 75Ω)
電源 . . . . 100V AC 50-60Hz
消費電力. 8W
外形寸法(幅、高さ、奥行) . . . . . . 290×102×308mm
質量 5.4kg

付属品

RCAオーディオケーブル×1
システムコントロールケーブル×1
電源コード×1
リモコン(RC-1182)×1
乾電池(単4)×2
取扱説明書×1
保証書×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■ 保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

21ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー　PD-H600
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1108·MA-1430A